

第28期

技術経営塾

2019年7月19日(金)スタート

開催要領

対 象 ▶ 経営と技術を考え、研究・技術開発に使命感・情熱をもたれている方で積極的な意見発表と交流に参加しうる中堅幹部

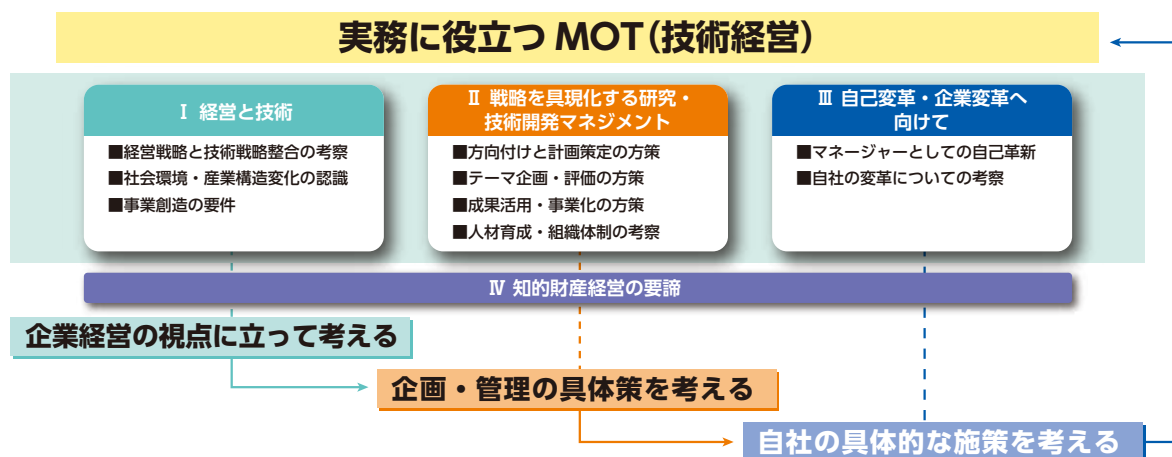
期 間 ▶ 2019年7月19日(金)～2020年6月19日(金)(毎月1回全12会合)

会 場 ▶ 東京都内会議室(11月／4月の合宿は別会場になります)

特 徴

- ① 技術経営の経験を持つ実務家のコーディネーターの方々から技術経営の本質と実践を学ぶ
- ② 実務家のゲスト講演から様々な事例を学び、自社の成長に活かす
- ③ 合宿を2回行い、塾生同志が問題提起をし合い日頃の疑問を徹底討議する
- ④ 毎回出される宿題に対して自社の現状と課題を整理・発表し課題解決につなげる
- ⑤ 1年の最後に論文を執筆し、自身のこれからの技術経営への想いや自社への提言を残す

プログラム構成



指導陣プロフィール

コーディネーター▶

元 住友スリーエム株式会社(現 スリーエムジャパン) 常務取締役 **野津 英夫**

1965年京都大学工学部合成化学科卒業、住友スリーエム株式会社(現スリーエムジャパン)入社、接着剤の開発、ビデオテープ・コンピュータ用テープ等の記録メディアの開発に従事。1993～1996年3M社デジタルメディア研究所部長。1996～2002年技術本部統括部長。2002～2003年執行役員技術担当。2004～2007年常務取締役技術及び環境マネジメント担当



コーディネーター▶

信州大学 名誉教授 (元 信州大学 教授)(元 セイコーエプソン(株) 常務取締役) **赤羽 正雄**

1973年早稲田大学大学院理工学研究科(修士課程)修了。諏訪精工舎(現セイコーエプソン)入社 開発部研究員。1990年電子機器事業部海外PC設計部長。1991年EPSON RESEARCH CENTER(米国カリフォルニア州サンノゼ)シニア・ディレクター。1996年エプソン販売、取締役PCオペレーション部長。1999年セイコーエプソン、取締役研究開発副本部長。2003年常務取締役研究開発本部長。2007年6月同職を退任・退社。2007年6月信州大学教授に就任。2014年3月同大学定年退職。



コーディネーター▶

ヤンマーホールディングス株式会社 取締役 (一般社団法人企業研究会 研究アドバイザー)(元日本アイ・ピー・エム(株) 取締役)(元京セラ(株) 顧問) **廣瀬 貞夫**

【略歴】1972年日本アイ・ピー・エム(株)研究所入社、漢字プロジェクト企画。1975年IBMサンノゼ・リサーチ赴任 日本語入力研究。1979年IBMニューヨーク本社赴任 キングストン研究所事業分析担当。1987年日本アイ・ピー・エム本社で全社の計画部長。1991年 営業開発統括本部副統括本部長で2年間営業経験。1992年 開発製造本部スタッフオペレーションズ統括部長として研究・開発・製造部門の人・物・金および期間計画を担当。1999年 取締役・開発製造スタッフオペレーションズ担当。2005年日本アイ・ピー・エム(株)同職退任。2005年京セラ(株)に入社。事業戦略統括本部で顧問就任。2010年京セラ(株)顧問を退職。2014年ヤンマーホールディングス(株)取締役、現在に至る。【主な兼職歴】2002年～2007年 総務省独立行政法人評価委員会委員。2004年～2010年 国立大学法人九州工業大学監事。【主な著書】『IPD革命』編者(工業調査会2003年)、『PMO構築事例・実践法』共著(ソフト・リサーチ・センター2007年)、『技術経営・技術戦略と新事業創造のマネジメント』共著(企業研究会2004年)、『グローバル競争を勝ち抜く技術経営戦略・提言』共著(企業研究会2009年)。



講師(「知的財産活動」担当)▶

元 キヤノン株式会社 専務取締役 弁理士 **丸島 儀一**

1960年早稲田大学卒業後キヤノンカメラ(現キヤノン)入社。特許部長、取締役、専務取締役、顧問を経て、2009年7月退任。役員時代に特許法務本部長、製品法務委員会委員長、新規事業育成本部長、研究・開発担当、国際標準化担当も務めた。入所以来、特許一筋の「特許人生」を歩み、複写機やプリンターの成功を特許部門から支える。ゼロックス、IBMなどアメリカ大企業との交渉に卓越した手腕を発揮した。2003年春の叙勲において、知財分野で著しい功績を上げられたことにより、黄綬褒章を受賞。活動の主なもの：(社)日本経済団体連合会 知的財産問題部 会長、(社)日本国際知的保護協会 副会長、産業構造審議会知的財産政策部委員、文化審議会著作権分科会委員、知的財産教育協会検定委員、弁理士会 副会長、特許協会(現知的財産協会)理事長、金沢工業大学大学院知的創造専攻教授、東京理科大学専門職大学院客員教授などを歴任。主な著書：「知的財産戦略」ダイヤモンド社、「キャンオン特許部隊」光文社新書刊、「プロパテント時代の知的財産戦略マネジメント」共著、「知財この人にきく」発明協会、「知財立国への道」知的財産推進事務局、他論文多数。



セッションⅠ

—経営と技術—

第1回 7月19日(金) 13:00~17:00(懇親会/17:10~19:00)

■ 開講挨拶

■ 基本講義 「技術経営とは —企業経営における技術・研究開発の役割—」

講師：コーディネーター 野津 英夫 氏

1. 持続的成長の達成
2. 持続的成長と研究開発の役割
3. 技術価値の事業価値への転換
4. 経営戦略と研究開発戦略の整合性

■ オリエンテーション

⇒ コーディネーターのご紹介、塾生の自己紹介、会合の進め方の説明

■ 懇親会

第2回 8月23日(金) 13:00~17:00

■ 基本講義 「技術戦略と研究開発マネジメント」

講師：コーディネーター 廣瀬 貞夫 氏

1. 激変する経営環境と研究開発に求められる事
2. 経営戦略と技術戦略
3. イノベーションの考え方
4. 研究・技術開発のマネジメント事例
5. 外部資源の活用とオープン・イノベーションの取り組み

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

第3回 9月13日(金) 13:00~17:00

■ 基本講義 「新規分野開拓の技術戦略と事業創造」

講師：コーディネーター 赤羽 正雄 氏

1. 企業成長の方向性
2. 9 象限ポートフォリオ
3. 技術開発・事業創造を妨げる要因とその対応
4. 先行優位性の構築と享受

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

第4回 10月11日(金) 13:00~18:40

セッションⅡ

—戦略を具現化する研究・
技術開発マネジメント—

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

■ 基本講義 「研究・技術開発の方向付けと計画化」

講師：コーディネーター 野津 英夫 氏

1. 事業成長の基本的枠組みと研究開発戦略
2. イノベーションとストレッチゴール
3. 新製品開発の要点
4. 価値創出のプロセスとマネジメント

■ 事例研究 「R&D 戦略策定、組織再構築と推進」

講師：R&D 部門のトップマネジメントの方を予定

■ 合宿事前討議

⇒ 11月の合宿に向けて、具体的なテーマの絞り込み、
合宿に持ち寄る資料などを決めるための事前討議を行う

第5回 合宿研究会 11月15日(金)~16日(土)

【合宿研究会】 1日目 グループ討議 約6時間

2日目 討議内容の発表、全体討議

■ 合宿討議テーマ

1. 経営戦略と整合した研究・技術開発戦略の策定とその課題
2. 新規分野開拓のための研究・技術開発戦略の策定とその課題
3. 事業競争力強化のための知的財産戦略の策定とその課題

※上記3テーマのうち希望テーマを1つ選んでいただき、それに従って討議するグループを編成させていただきます。

第6回 12月13日(金) 13:00~17:30

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

■ 基本講義「研究・技術開発テーマの企画・評価」

講師：コーディネーター 赤羽 正雄 氏

1. 素質の良いテーマ企画とは
2. 戦略との整合性、事業部との関係性からのテーマ評価
3. 獲得した競争優位性を長く保てるテーマとは
4. 事業創出力と組織の評価

■ 事例研究「研究・技術開発テーマの企画・評価」

講師：R&D 企画部門マネージャーの方を予定

第7回 '20年1月17日(金) 13:00~17:30

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

■ 基本講義「研究・技術開発の成果活用と新規事業開発」

講師：コーディネーター 廣瀬 貞夫 氏

1. 研究開発成果の創出と活用
2. 新規事業開発と事業化移行のマネジメント
3. 新規事業の事業性評価とビジネスモデルの策定
4. 新規事業とリスクマネジメント

■ 事例研究「研究・技術開発の成果活用と新規事業開発」

講師：新規事業開発担当者の方を予定

第8回 2月14日(金) 13:00~17:30

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

■ 基本講義「R&D 部門の人財マネジメントと組織の活性化」

講師：コーディネーター 廣瀬 貞夫 氏

1. 技術経営に求められる人財とは
2. R&D 技術人財マネジメントの実際
3. イノベーションを創出する人財と組織風土
4. イノベーションに欠かせないダイバーシティ・マネジメント

■ 事例研究「R&D 部門の人財マネジメントと組織の活性化」 講師：R&D 部門マネージャーの方を予定

第9回 3月19日(木) 13:00~18:40

セッションⅢ

—自己変革・
企業変革へ向けて—

■ 基本講義「イノベーションの創出とマネジメント」

講師：コーディネーター 野津 英夫 氏

1. イノベーションをどう理解するか
2. イノベーションの DNA と持続の必須要件
3. イノベーションを育む風土と仕組み：事例を踏まえて
4. 3つの能力—価値創出能力、自己変革能力、人材活用力

■ 課題発表、グループ討議

■ 合宿前事前討議

⇒ 4月の合宿に向けて、具体的なテーマの絞り込み、
合宿に持ち寄る資料などを決めるための事前討議を行う

第10回 合宿研究会 4月17日(金)~18日(土)

【合宿研究会】1日目 グループ討議 約6時間

2日目 討議内容の発表、全体討議

■ 合宿討議テーマ

1. 研究・技術開発テーマの企画・立案と評価
2. 研究・技術開発の成果活用と新規事業開発
3. 研究・技術開発の人財マネジメントと組織活性化

※上記3テーマのうち希望テーマを1つ選んでいただき、それによって討議するグループを編成させていただきます。

第11回 5月14日(木) 13:00~17:00

■ 課題発表、グループ討議

⇒ 前回の基本講義内容に即した課題を持ち寄り、少人数のグループで発表・討議を行う

■ 基本講義 「知的財産経営と研究開発における知的財産戦略」

講師：元 キヤノン株式会社 専務取締役 弁理士 丸島 儀一 氏

1. 日本企業に求められる知的財産戦略とは
2. 事業と知的財産戦略を意識した研究開発
3. 研究者の知財マインド、知財センス
4. 研究開発と国際標準化活動の連動

※講師著「知的財産戦略～技術で事業を強くするために～」を参考図書として配布いたします。

最終回 6月19日(金) 13:00~17:00

■ 論文発表 「技術経営推進への提言とその具体策」(仮題)

(第27期テーマ) 経営環境変化を先取りし新しい顧客価値を創造する技術経営のあり方

発表者：優秀論文賞受賞者 3名程度

※1年間の技術経営塾における各講義の内容や、メンバー間の意見交流から得られた成果を基に5月に修了論文を執筆。指導陣の選定により優秀論文賞受賞者は最終会で論文内容の報告を行う。また、全員分の論文を論文集としてまとめ、配布する。

■ 総 評

⇒ 指導陣が修了論文に対しての講評と1年間を通しての総評を行う

■ 優秀論文賞授賞式、修了証書授与式、懇親会



◎課題発表・グループ討議では3つのグループで進行いたします。3人のコーディネーターの方には、各グループに1人ずつ入って指導していただきます。前回の基本講義の内容をベースに毎回宿題が出され、自社の課題を発表してグループ内で解決策を模索いたします。毎回自由席ですので、テーマに合わせて指導を受けたいコーディネーターの方がいるグループにお入りいただくことができます。



◎1年間で学んでいただいた内容をベースに自社への提言として修了論文を執筆。全ての塾生の修了論文を「論文集」としてまとめて最後にお渡しさせていただきます。

第28期 技術経営塾 開催にあたって

コーディネーター▶

野津 英夫 氏からのメッセージ

技術経営の本質は「技術価値の事業価値への転換」です。そのためには技術開発から事業化に至る複雑で多様なプロセスをロジカルに理解し、新しい事業価値の創造を目指し勇気をもって自らチャレンジし、リーダーシップを発揮していかねばなりません。当塾では技術経営の基本となる理論と手法を学んでいただくと共に、実践に不可欠な関連事項を実際に経験した生々しい失敗事例も交えながら教えていきます。

「人を管理するマネジメント」ではなく、厳しい競争環境の中で周りを巻き込みながら自ら変わり、変革を成し遂げる「行動するマネジメント」を当塾で学んでいただき、自社の競争力強化と持続的成長に資していただけることを願っています。

コーディネーター▶

赤羽 正雄 氏からのメッセージ

研究開発から事業化までのプロセスは不確実性が高く且つ長期にわたるため、実際に研究開発を完遂し、経済価値に結びつけるには様々な困難を伴います。この課題をクリアするためには、経営トップ、上司や部下、同僚、関係部門など様々な人を巻き込み、納得と共感を得、更には協力を受けながら進めていかなくてはなりません。そこでもっとも重要なことは、技術者自らが「技術経営に関する理論武装」をすることです。

当塾では、経営の話からはじまり、研究開発や事業化、知財や組織に至るまで様々なテーマを扱っていきます。1年を終えるころには、それぞれのテーマに対して自分なりの考えを持って理論形成をし、周りを巻き込む力をつけていただきたいと思います。それが、様々な困難を乗り越えるバックグラウンドになるはずです。

コーディネーター▶

廣瀬 貞夫 氏からのメッセージ

企業が競争力を持ち、持続的に成長していくためには「自社を取り巻く環境変化に如何に対応するのか」ということを先取りしながら考えなくてはなりません。そのためには、技術経営の本質を理解し、実際に起こっている課題を解決しながら自分なりの対応策を創り上げていく必要があります。

特に、ミドルマネジメントの役割は大きく、将来を担うミドルマネジメントが早くから技術経営を学び、技術経営の視点から自部門の課題に取り組むことは企業の成長につながります。

当塾では課題発表や合宿などで現在悩んでいる自社・自身の課題を出し合う機会でもあり、是非、積極的に活用していただき課題解決に役立ててほしいと思います。

第26～27期参加者実績

※所属・役職は参加時

会 社 名	所 属 ・ 役 職 名	会 社 名	所 属 ・ 役 職 名
旭化成(株)	電子・機能製品事業部電子材料事業グループ 電子材料技術開発部部长	日本たばこ産業(株)	製品技術開発センター香料技術チーム 次長
出光興産(株)	生産技術センター管理課	日本たばこ産業(株)	たばこ中央研究所 次長
出光興産(株)	プロセス技術室国内事業技術3グループ	日本特殊陶業(株)	センサ事業部・技術本部・開発設計2部 Z F A S 素子設計課
出光興産(株)	エンジニアリング室プロセス設計グループ	バンドー化学(株)	新事業推進センター技術部 主事
花王(株)	基盤研究セクタマテリアルサイエンス研究所 室長	バンドー化学(株)	高機能エラストマー製品事業部技術部 ウレタンベルト・樹脂技術グループグループ長
(株)カネカ	パイオテクノロジー研究所 基盤・探索研究グループ幹部職	日立造船(株)	事業企画・技術開発本部技術研究所 ものづくり基盤研究センター触媒グループ長
(株)カネカ	Foam & Residential Techs Solutions Vehicle 技術統括部技術グループグループリーダー	日立造船(株)	事業企画・技術開発本部戦略企画部 主管技師
キューピー(株)	研究開発本部食創研究所 調理・調味料開発部次長	(株)フジクラ	先端技術総合研究所光部品研究部 グループ長
キューピー(株)	研究開発本部食創研究所 調理・調味料開発部 チームリーダー	(株)フジクラ	先端技術総合研究所
(株)神戸製鋼所	開発企画部 担当次長	藤森工業(株)	研究所樹脂加工技術グループ 主任
(株)神戸製鋼所	技術開発本部材料研究所加工技術研究室 室長	藤森工業(株)	研究所導電性回路形成グループ
(株)神戸製鋼所	開発企画部	藤森工業(株)	研究所技術企画グループ
コスモ石油(株)	安全技術統括ユニット中央研究所 石油精製プロセスグループグループ長	(株)ブリヂストン	製品プラットフォーム開発部先行製品開発ユニット ユニットリーダー
(株)ジェイテクト	研究開発本部研究企画部研究企画室 主任	(株)ブリヂストン	材料プロセス技術開発部 精錬プロセス技術開発ユニットリーダー
(株)ダイセル	研究開発本部先端材料企画部 主任部員	(株)ブリヂストン	生産技術戦略部商品競争力戦略ユニット 主任部員
豊田合成(株)	技術管理部開発推進室 室長	(株)ブリヂストン	デジタルマニュファクチャリング推進部 課長
(株)ニチレイフーズ	研究開発部 R & D 企画グループ プロフェッショナル	(株)ブリヂストン	タイヤ材料先行開発部生産材料先行開発ユニット ユニットリーダー
(株)ニチレイフーズ	研究開発部 研究開発グループリーダー	(株)ブリヂストン	革新941開発部構造設計第一ユニット (#4081) ユニットリーダー
(株)ニチレイフーズ	研究開発部 R & D 企画グループ プロフェッショナル	ホーユー(株)	総合研究所基盤技術研究室 副主管
日清製粉(株)	生産本部品質管理グループ グループリーダー補佐	ホーユー(株)	総合研究所先端技術研究室 主管
日清製粉(株)	干葉工場 工場次長	ホーユー(株)	総合研究所製品開発第1研究室 副主管
(株)日清製粉グループ本社	生産技術研究所包装研究室 主任研究員	ホーユー(株)	総合研究所事業・情報管理室 副主管
(株)日清製粉グループ本社	基礎研究所穀粉機能研究室 主任研究員	(株) L I X I L	Technology Research 本部 主査
(株)日清製粉グループ本社	R & D・品質保証本部基礎研究所 穀粉機能研究室室長	(株) L I X I L	Technology Research 本部研究戦略統括部 研究管理室主査
日清フーズ(株)	加工食品事業部第二部開発グループ グループリーダー	(株)リコー	リコー I C T 研究所システム研究センター 副所長
日東電工(株)	基盤機能材料事業部門エレクトロニクス材料事業部 開発部アドバンスコアテクノロジーグループ 主任研究員	(株)リコー	研究開発本部 A P T 研究所 材料技術開発センター M S T 開発室室長
日本航空電子工業(株)	商品開発センター 技術マネージャー		

参加要領

会 費▶

1名につき

正会員

388,800円

(本体価格 360,000円)

一 般

426,600円

(本体価格 395,000円)

分割・次年度支払い等可能です。お気軽にご相談ください。 宿舎研究会にご参加の際は別途実費をご負担いただきます。

申込方法▶ 以下 1 2 のいずれかの方法でお申込ください。

1 企業研究会ホームページ (https://www.bri.or.jp)

技術経営塾

検 索

TOP → 塾・ビジネススクール → 3.技術マネジメント／技術経営塾 → 第28期参加申込フォーム



パンフレットはこちら をクリックすると、パンフレットがPDFでダウンロードできます。

2 担当者へのメール (以下項目を担当：福田 fukuda@bri.or.jp まで直接ご送信下さい。)

①御社名

②所在地

③参加者お名前

④ご所属・お役職

⑤ E-mail

⑥ T E L

一般社団法人 企業研究会

第1研究事業グループ 担当：福田 (E-mail : fukuda@bri.or.jp)

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2階

TEL : 070-2804-8050 (福田直通) TEL : 03-5215-3511 (代表)